

平成28年度 第1回 京都府域渋滞対策協議会

京都府域渋滞対策協議会の経緯
渋滞対策協議会の進め方

1.これまでの経緯

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

渋滞対策の検討経緯

主要渋滞箇所の検討

H25/1/11

第1回
京都府域渋滞対策協議会

1/22～1/28

パブリックコメントの実施

2/8

第2回
京都府域渋滞対策協議会

H25/2/15

主要渋滞箇所の特定・公表

基本方針検討

H25/7/3

第1回
京都府域渋滞対策協議会

渋滞状況のモニタリング・要因分析等

H27/9/30

27年度第1回
京都府域渋滞対策協議会

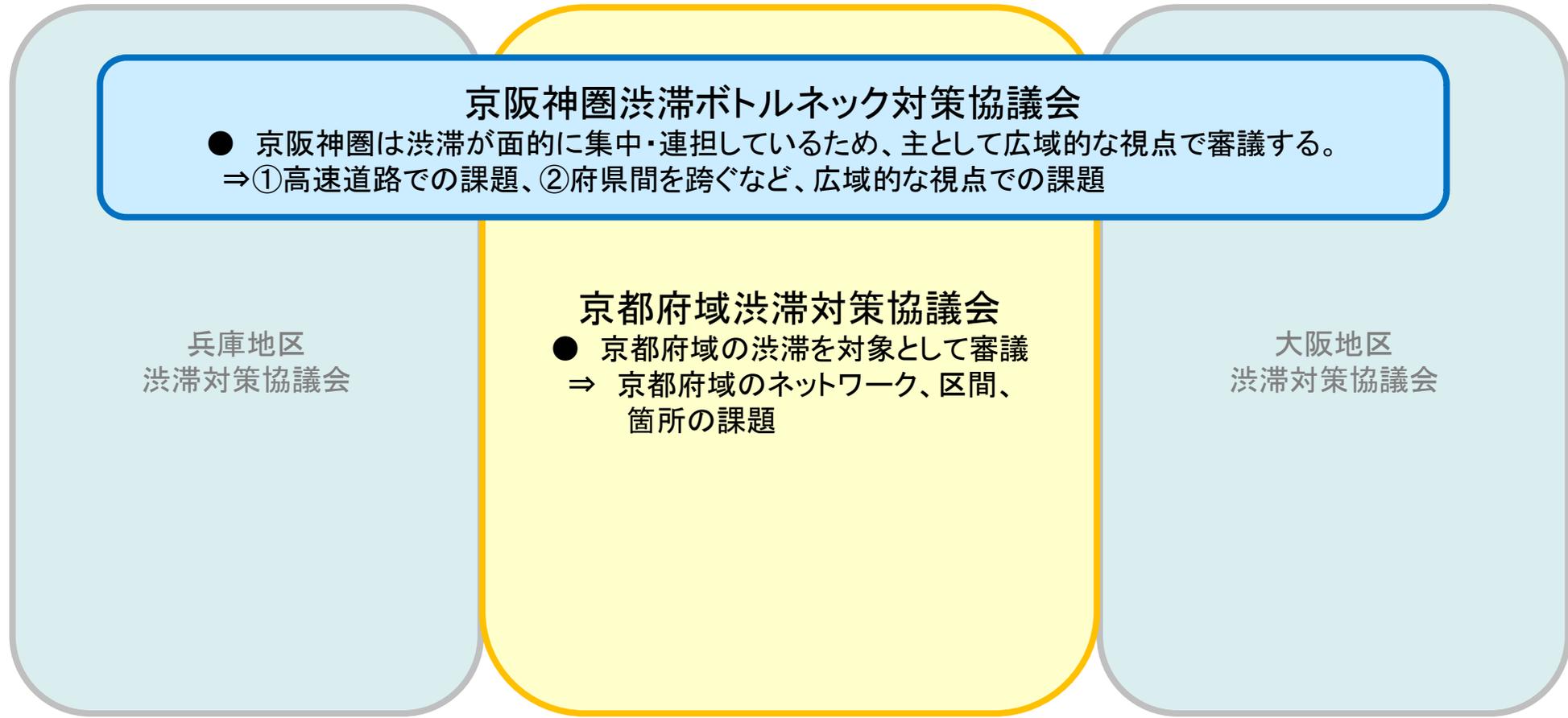
H28/7/27

28年度第1回
京都府域渋滞対策協議会

2.検討体制(京阪神圏ボトルネック対策協議会との役割分担)

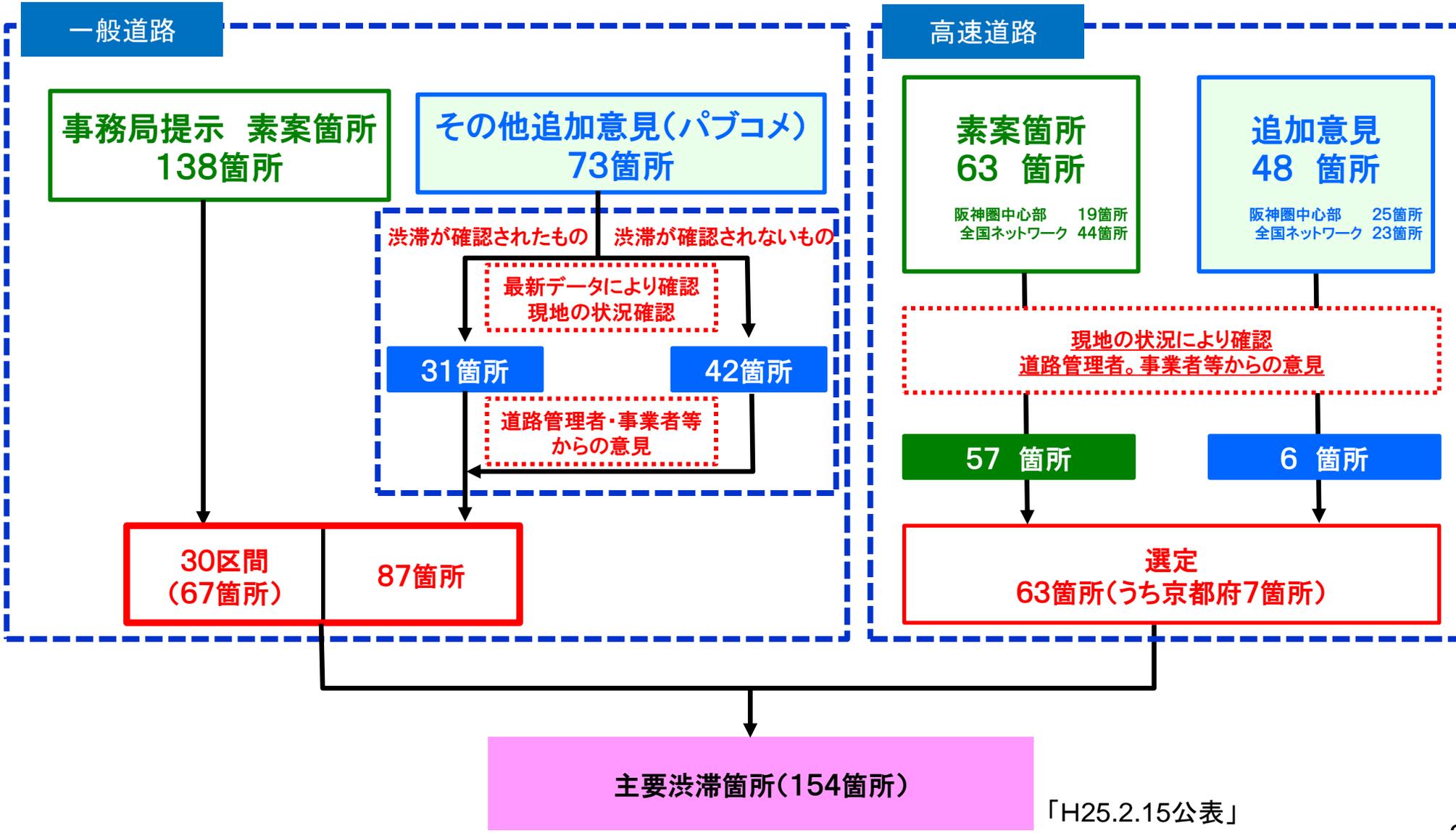
- 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会では、主に広域的な視点で審議し、①高速道路での課題、②府県間を跨ぐ一般道路等を担当
- 京都府域渋滞対策協議会では、京都府域の一般道路の主要渋滞箇所を担当

■協議会構成(京阪神圏渋滞対策ボトルネック対策協議会との役割分担)



3.主要渋滞箇所を選定・公表

○一般道路では、旅行速度データ等から、主要渋滞箇所(素案)を抽出し、道路管理者・事業者等からのご意見や、パブリックコメントによる一般の道路利用者からのご意見を踏まえて、主要渋滞箇所を選定(154箇所)



4. 京都府域渋滞対策協議会での協議事項

○京都府域渋滞対策協議会では、京都府域全体における課題の状況を継続的に把握・共有していくために以下の3点について、審議を実施

- ①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング
- ②事業完了による対策効果検証
- ③京都府域における交通課題等の情報提供・共有

渋滞対策協議会のポイント

①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング

主要渋滞箇所選定時と現在の渋滞状況の比較

【主要渋滞箇所全箇所】

②事業完了による対策効果検証

主要渋滞箇所選定時以降に完了した事業周辺の事業前後の交通状況比較

【事業周辺の主要渋滞箇所等】

③京都府域における交通課題等の情報提供・共有

京都府域における渋滞に関連した交通課題等の情報提供・共有

5.平成27年度協議会での協議事項

○平成27年度協議会での協議事項は下記のとおりであり、各協議事項に対する指摘や了解事項は下表のとおりである。

○主な確認・了承事項として、

- ・主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証内容や各道路管理者の取り組み内容について了承した。
- ・今後の進め方として、定期的に協議会を開催し、主要渋滞箇所のモニタリングや各道路管理者の取り組み等について、情報共有を図っていくこととなった。

■平成27年度 京都府域渋滞対策協議会における議事内容と主な指摘事項

議事内容	主な指摘事項
(1) 京都府域渋滞対策協議会の経緯	<p>■京都府警 パークアンドライドについては、今後周知の方法が課題である。また、ETC2.0の分析は、四条通周辺に用いない交通が含まれていることを明らかにできており、今後、大いに活用できるのではないかと考えている。京都府警として、実施できる渋滞対策は限られているが、今後も、皆様の力を借りながら協力してやっていきたいので、情報共有をしっかりとしていきたい。</p> <p>■近畿運輸局 運輸局としては、ソフト面で協力できることがあるかなと考えている。現在、公共交通の利用促進として、モビリティマネジメントの一環として、小学校などでの説明などを実施している。また、様々な媒体でパークアンドライドなどの取り組みを情報提供できればいいと思う。</p> <p>■トラック協会 渋滞に関する情報は、会員の方に提供していきたいので、適宜情報共有していただくと有難い。</p> <p>■京都観光連盟 観光サイトなどにもパークアンドライド等の情報を載せられるといいと考えている。</p>
(2) 主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証	
(3) 各道路管理者の取り組み紹介	
(4) 今後の進め方	
(5) その他	

6. 平成28年度協議会での協議事項

○前述の3つの観点の他、その他の協議事項として、主要渋滞箇所の中で対策未検討箇所が多く存在するため、対策未検討箇所についての今後の進め方について協議する

平成28年度協議会での協議のポイント

項目	協議内容	資料内容
①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング	・京都府域の渋滞状況の確認	・最新の民プロデータより昨年度と同様に面的に整理 ・昨年度完了した事業の継続的なモニタリング結果
②事業完了による対策効果検証	・京都縦貫自動車道全線供用(H27.7)の対策効果検証	・最新の民プロデータや各種調査結果より、全線供用による主要渋滞箇所への影響を評価
	・観月橋における交通安全事業実施の対策効果検証	・最新の民プロデータや各種調査結果より、事業完了による影響を整理
③京都府域における交通課題等の情報提供・共有	・京都市域の観光地周辺でのソフト対策の効果検証及び改善に向けた課題	・京都市域の観光地のうち、①嵐山地区、②東山地区対象に、ソフト施策の効果検証及び改善に向けた課題整理
	・カルテ作成について	・カルテ更新管理により渋滞要因の整理と対策の進捗状況を管理。
	・堀川通における渋滞状況・要因整理	・堀川通における渋滞状況・要因を整理
	・国道9号亀岡市内での渋滞状況・要因整理	・最新の民プロデータ・現地踏査等により、国道9号亀岡市内での渋滞状況・要因を整理
④その他	・対策未検討箇所の進め方	・対策未検討箇所の検討の進め方⇒協議会において課題が共有された主要渋滞箇所では、担当者間で連携し取り組む